

# 紙容器で プラスチック削減に貢献!

～ムリせず、できることからはじめよう～

1

「プラスチック」が  
問題になっている?



2

「プラスチック問題」  
に対する生活者の  
意識は?



3

紙は再生資源



5

フタでも  
プラスチック削減!



4

紙容器と  
プラスチック容器の  
環境性比較



はじめに

## 容器を創る会社として

東罐興業株式会社は、主に食品向けのワンウェイ容器を製造・販売  
しています。その中でも紙コップは国内トップシェアをいただ  
いており、私たちの製品は生活者の日常に深く関わっています。

ワンウェイ容器は食品流通や衛生面の観点から人々の生活に欠かせ  
ないものですが、一方で環境面での不安を抱える方も多くいら  
っしゃるのではないのでしょうか。

今回は、私たちの事業の主軸である「紙コップ」の環境性について、  
お伝えできればと思います。



# 1

## 「プラスチック」が問題になっている？

「2050年の海は、魚よりもプラスチックごみの方が多くなるかもしれない<sup>※1</sup>」

衝撃的な試算が、2016年の世界経済フォーラム年次総会（通称ダボス会議）で示されました。

2019年のG20大阪サミットでは、「2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を共有し、プラスチック削減への取り組みは世界の共通課題となっています。



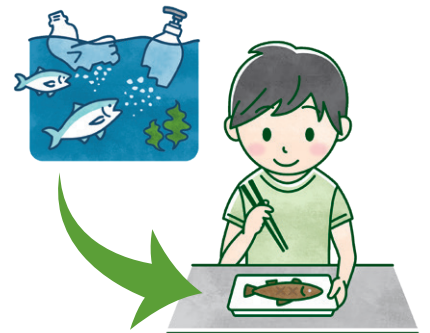
### 海洋プラスチックとは？

環境中に捨てられたプラスチックごみは、川から海へと至り、波の力や紫外線の影響などで細かく砕けていきます。5ミリ以下になったものはマイクロプラスチックと呼ばれ、世界中の海に存在しています。



### マイクロプラスチックの影響

マイクロプラスチックを海洋生物が餌と間違えて食べると、その後の食物連鎖であらゆる生物の体内にプラスチックが取り込まれることになります。魚を食べる人間も例外ではなく、1人あたりが年間で取り込んでいるマイクロプラスチックは約5万2000個ともいわれています。



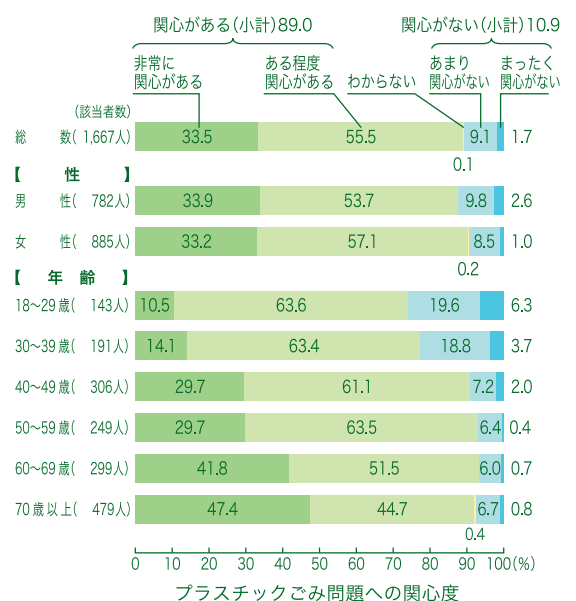
# 2

## 「プラスチック」に対する生活者の意識は？

生活者のプラスチックごみ問題に関する関心度はどうでしょうか。2019年におこなわれた内閣府の調査によると、「関心がある」と答えた人が89.0%、「関心がない」と答えた人はたったの10%に留まりました。



生活者の約9割が関心あり！



「プラスチックごみ問題」に関する生活者の意識<sup>※2</sup>

※1 重量ベース

※2 出典：https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-kankyogairaku.pdf (「環境問題に関する世論調査」内閣府 2019年8月22日～9月1日 有効回収数1,667人(回収率55.6%))



# 3

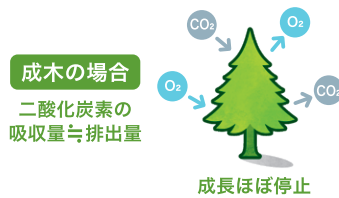
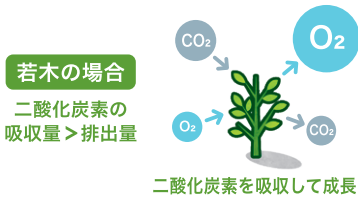
## 紙は再生資源

石油は使えば無くなってしまいう枯渇性資源ですが、紙は再生可能資源です。

紙容器に使用されている紙は、産業用の原材料の供給のために活用する「生産林」から計画的に伐採された木材を使用しています。

「生産林」では8～9年サイクルで計画的に収穫できるようにエリアを分けて植林をしています。

若木は成木に比べてCO<sub>2</sub>吸収量が多く、成長した木を適切に伐採し新たな木を植林していくことで、CO<sub>2</sub>削減にも効果があります。



伐採→植林のサイクルで、CO<sub>2</sub>を吸収しやすい森林に！



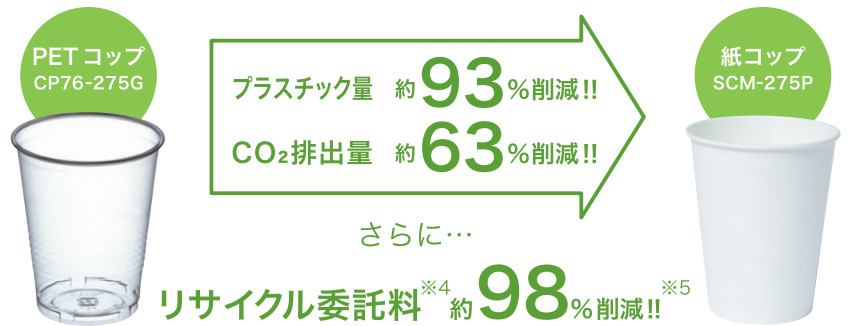
# 4

## 紙容器とプラスチック容器の環境性比較

紙容器に利用される原紙の環境性は先に述べたとおりですが、原紙から紙容器となり、生活者に使用された後の環境性はどうか。

紙コップとプラスチックコップの環境性を「樹脂使用量」「CO<sub>2</sub>排出量」の観点から比較しました。

当社製品 同容量サイズ  
紙コップ：SCM-275P/PETコップ：CP76-275Gにて比較



PETコップ・約147,000円 → 紙コップ・約2,700円

環境へのメリットだけでなく、リサイクル委託料※4の削減にも効果あり！

※4 リサイクル委託料とは：容器包装リサイクル法により、容器包装利用・製造等事業者は、容器を再商品化（リサイクル）するために委託金を支払って再商品化義務を果たさねばならないと決められています。  
※5 100万個/1年間 使用した場合（2020年度基準で計算）

# 5

## フタでもプラスチック削減！

東罐興業では、フタに使用されているプラスチック削減についても取り組みを進めています。

ALL 紙製品化を実現できる紙製のフタ

### Tokan PA-Lid ピーエー・リッド

従来はプラスチックで作られている樹脂製のフタを、紙製品へ置きかえました。紙絞り成型技術を利用して1枚の紙製ブランクからコールド飲料用フタを成形しています。

これにより、従来品よりプラスチック量を84%削減。さらに、紙コップ+紙フタ+紙ストローを組み合わせる使用することにより、ALL 紙製品化を実現。使用後の分別も不要になります。

- Tokan PA-Lid 対応紙コップ規格  
SCM-480PP-2, SCM-545PP, SCM-600PP-3



ストローなしで直接飲むことができるフタ

### Tokan withlid ウィズリッド

従来の平フタ+ストローを使用した時と比べ、約20%のプラスチック削減が可能です。

従来型のドリンクグリッドと比較して、飲用時にコップを傾けなくても飲みやすい、飲み残しが少なく済むなど、プラスチック削減だけでなくユーザビリティ向上も両立しています。

- Tokan withlid 対応紙コップ規格  
CP90-LF Tokan withlid : SCM-480PP-2, SCM-545PP, SCM-600PP-3



紙容器を利用して、無理せず、できるところから  
プラスチック削減をはじめませんか。